

条例の制定及び一部改正など (主なもの)

●子育て発達支援センター施設条例の制定
障害のある児童や発達上支援が必要と認められる児童に対して、児童デイサービス事業や日中一時預かり事業を行い、また、子供の発達に不安を持つ保護者や家族に対して、心身の発達に関する相談事業などを行うため子育て発達支援センターを設置する。

●介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定
「介護従事者等の人材確保のための介護従事者等の処遇改善に関する法律」が制定され「介護従事者の処遇改善のための緊急特別対策」として、平成21年度介護報酬改定率を3.0%とすることが決定された。これを受け介護報酬改定に伴う介護保険料の急激な上昇を抑制するために、平成20年度において介護従事者処遇改善臨時特例交付金が市に交付されることから当該交付金を適正に管

理運営するため、基金を設置する。この条例は平成24年3月31日をもって効力を失う。

◆組織条例の一部改正
多様化する市民ニーズに柔軟、かつ、機動的に対応することができ、体制の強化を図るため、事務を分掌する行政組織を改める。

◆公の施設の設置及び管理に関する条例の一部改正
「子育て支援発達センター」と「障害者支援施設ワークセンター」及び「日吉分所」の設置及び川辺保育所を廃止する。

◆職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
人事院勧告に伴い「職員の正規の勤務時間及び休息時間」を改め、休息時間を廃止する。

◆職員の育児休業等に関する条例の一部改正
育児短時間勤務をする職員の勤務形態について、同様に時間短縮を行うため所要の改正をする。

◆特別会計条例の一部改正

市商品券事業特別会計を廃止する。

◆市立学校給食共同調理場条例の一部改正
日吉学校給食共同調理場が完成したため追加する。

◆介護保険条例の一部改正
21年度から23年度までの第4期事業運営期間が始まることから65歳以上の介護保険料を見直す。

◆美山知井会館
美山知井会館

◆日吉森林総合利用施設
美山都市農村交流活性化施設(百日紅)

◆日吉山の家
美山江和長期滞在施設

◆美山若生山の家
八木スポーツフォアオール

◆八木運動公園グラウンド・テニスコート
八木西地区コミュニティ公園グラウンド・テニスコート

◆八木文覚ふれあい公園キャンプ場
八木カヌーハウス

◆日吉胡麻コミュニティセンター
八木デイサービスセンター

◆障害者支援施設あじさい園、障害者支援施設ワークセンター及び、障

政財産に位置づけた。以上が全員賛成で可決。

◆公の施設の指定管理者の指定について36議案

○コミュニティプラザよしみ
○八木西地区自治振興会館
○八木南地区自治振興会館
○八木北地区自治振興会館
○八木神吉地区自治振興会館
○美山基幹集落センター
○美山知井会館
○日吉森林総合利用施設
○美山都市農村交流活性化施設(百日紅)
○日吉山の家
○美山江和長期滞在施設
○美山若生山の家
○八木スポーツフォアオール
○八木運動公園グラウンド・テニスコート
○八木西地区コミュニティ公園グラウンド・テニスコート
○八木文覚ふれあい公園キャンプ場
○八木カヌーハウス
○日吉胡麻コミュニティセンター
○八木デイサービスセンター

害者支援施設ワークセンター及び日吉分所

○美山高齢者女性等生きがい発揮促進施設(大野地域総合サービスセンター)

○八木バイオエコロジーセンター

○美山平屋生産物直売施設

○道の駅(京都新光悦村)

○スプリングスひよし

○美山地域活性化総合交流施設

○美山北宿泊施設ほか6施設

○美山知井地域拠点施設

○美山町自然文化村

○八木農村環境公園

○美山大野ダム公園

○八木防災センター

○美山かやぶき美術館、美山郷土資料館

○美山長谷運動広場・管理棟

○美山上平屋火葬場

○八木フィジカルセンター

以上が全員賛成で可決

「公の施設の指定管理者の指定について」討論(要旨)

反対討論

川勝儀昭 議員

公の施設の指定管理者の指定に関する議案が提案され、公募前提、公募除外、地域協議前提と区分されている。地域協議前提の施設においては、公的施設の施設が多く、廃止や地域への払い下げ等の方向性が見い出される。払い下げを行うにあたっては、

耐震補強等の補修修繕も必要である。地域協議前提とは、「市の公の施設として存続すべきではない」と、すでに位置づけられている。地域住民の皆様と十分な協議ののち、今回のような提案がなされるべきである。また、公募前提とされている指定管理は、特定地域の特定団体のみを対象とされている。なぜ、他の地域の類似施設や公募可能な他の施設においても、今回同様の措置が図られなかったのか、明確な理由説明も出されておらず、反対とする。

平成20年度 補正予算 全議案 可決 全員賛成

(△は減額)

予算名	①補正前の予算額	②補正額	①+②補正後予算額	
一般会計	221億7,668万円	7億195万円	228億7,863万円	
国民健康保険事業特別会計	38億2,696万円	△1億8,345万円	36億4,351万円	
老人保健事業特別会計	5億281万円	△1,296万円	4億8,985万円	
介護保険事業特別会計	29億2,678万円	1,772万円	29億4,450万円	
市営バス運行事業特別会計	5,252万円	財源組替	5,252万円	
簡易水道事業特別会計	7億6,440万円	97万円	7億6,537万円	
下水道事業特別会計	30億5,336万円	△1億3,037万円	29億2,299万円	
商品券事業特別会計	1,310万円	△62万円	1,248万円	
土地取得事業特別会計	1億1,149万円	1億1,929万円	2億3,078万円	
後期高齢者医療事業特別会計	4億7,860万円	△6,134万円	4億1,726万円	
上水道事業会計	(収益的支出)	4億1,656万円	△272万円	4億1,384万円
	(資本的支出)	3億7,428万円	△5,052万円	3億2,376万円

委員会での主な質疑

総務常任委員会

問 定額給付金のゴールデンウィーク前の早急な交付を求めるが交付はいつ頃になるのか。また定額給付金を寄附したいという方の対応はどうするのか。

答 町村会の電算システムの改修が間に合わず最速でも5月中旬の交付予定である。寄附をされる方は一旦は申請し交付を受けてから寄附していただきたい。

問 地域活性化・生活対策臨時交付金の積立金1億3550万円の早急な事業化を求めるが。

答 基金部分については6月補正で事業実施に向けて対応したい。

問 不景気の中で法人税の状況はどうか。

答 平成20年度は若干の減収で影響は少ないが、平成21年度は製造業の減産体制が影響し大きく下が

産業建設常任委員会

問 地域活性化・生活対策臨時交付金での道路改良と森林整備は。

答 道路改良2路線、側溝改良1路線、舗装改良4路線を予算計上している。森林整備は良い森づくり事業等も関連する中で植林、枝打ち、間伐等の事業を展開していく。

問 旧園部町から合併時に引き継いだ南丹市商品券事業の意義とこれまでの成果は。

答 旧園部町において町外への消費流出防止、地域商工業の振興施策として実施された。合併以降は商品券の購入枚数は下降した。本年4月1日より市商工会が全市域でご利用できる商品券を発行する。行政としても支援していきたい。

厚生常任委員会

問 子育て応援特別手当交付金はどうに交付されるのか。

答 システム改修後4月10日から受付し、振込み作業等にかかり、5月に支給開始となる。世帯主の口座に振り込まれる。申請書発送は定額給付金の封筒とは別である。

問 保育所の嘱託職員、臨時職員を募集しても応募がないのは正規職員と仕事の内容は変わらないのに給与が低いことが原因では。

答 他の市町村並みの給与水準に調整していきたいが、少子化、財政難であり増額には至っていない。

問 近隣の自治体では生活保護の申請が増えていると聞くが本市の状況は。

答 派遣切り等での申請者は今のところない。平成21年2月までの新規保護世帯は6世帯である。例年より少ない。